

卒業論文要旨

森林動態シミュレーション

1150247 西岡圭太

Simulation of the Forest Dynamics

Keita Nishioka

森林の時間経過による動態は一見ランダムのように見えるがそうではない。生物個体の分布はランダムではなくまとまりを作る傾向が見られる。本研究ではコンピュータで格子モデルを使ったシミュレーションを行った。サイトの変動パターンの規則としてすべてランダムな確率で行った場合と自分のサイトの上下左右のギャップの数に比例した確率を用いた場合でまとまりが現れるか比較を行った。

結果、自分のサイトの上下左右のギャップ数に比例した確率を用いた場合まとまりが現れより現実に近い結果が得られた。